

コモンズ30ファンド コモンズレター

追加型投信 / 内外 / 株式



渋澤と伊井の想い

【日本の新しい時代を見たい】

あけましておめでとうございます。今年も色々と予期せぬことが世界で起こるのでしょうか、コモンズ30ファンドは揺るがない長期投資の姿勢で運用に努めます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、今年からの数十年は、**日本の大企業の創立150周年ラッシュが始まります**。150年前の日本は300年続いた鎖国体制が解かれたばかりの途上国でした。豊富な自然資源とは、端的に言えば水と、そして、人だけでした。

言い換えれば、日本は人的資本の向上により、開国後数十年という短期間に当時の先進国の仲間入りを果たした訳です。西洋諸国の産業革命により、途上国が植民地として支配されているという世界の時代は、まさに多くの予期せぬリスクを抱えていました。

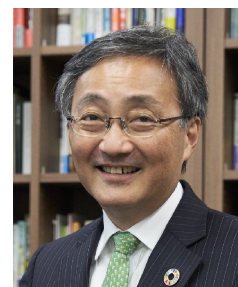
ただ激動している世の中において、日本社会の急速な変革こそが国運を左右するという差し迫った時代に、日本では多くの社会的イノベーションが民間から創出されました。たとえば、「銀行」です。当時の日本社会では存在していなかったスタートアップであり、ネーミングも造語でした。

1873年7月20日に創立された日本初の銀行である第一国立銀行（現みずほ銀行）は生みの親である渋沢栄一から「一滴一滴が大河になる」とたとえられ、日本の新しい時代を切り拓くために成長性のある資金を社会の隅々にまで循環させる役割を託されました。当時の銀行とは、社会的課題の解決をその起業の意図としたインパクト・スタートアップだったのです。

当時は商業とは家業が基本でしたが、同行は複数の出資者により創立された「株式会社」でありました。これも、当時では新たな社会的イノベーションでした。複数の出資者が寄り集まって共同で出資をした理由は、もちろん利益を求めためでありました。ただ、**利潤追求だけではなく、彼らは日本の新しい時代を見たい**。だから、出資をしたのだと思います。

この時代には他にも数多くの会社が創立され、現在では誰でも知っている大企業になっています。例えば、コモンズ30ファンドが長年投資している資生堂や丸紅も同じ時代に誕生しています。多様な業種の大企業群ですが、あの激動の時代に生まれ、全てが日本に新しい時代を見たいのために設立されました。その後誕生した会社も同じです。

日本の新しい時代を見たい。2023年現在、これも同じですね。投資先企業それぞれに、各社の創立の想いを是非とも実現していただきたいです。



取締役会長 渋澤 健

コモンズ30ファンド

モーニングスターFUND OF THE YEAR2021
(ファンドオブザイヤー2021)

国内株式型 部門 優秀ファンド賞受賞！

コモンズ30ファンド

格付投資情報センター「R&I ファンド大賞 2022」

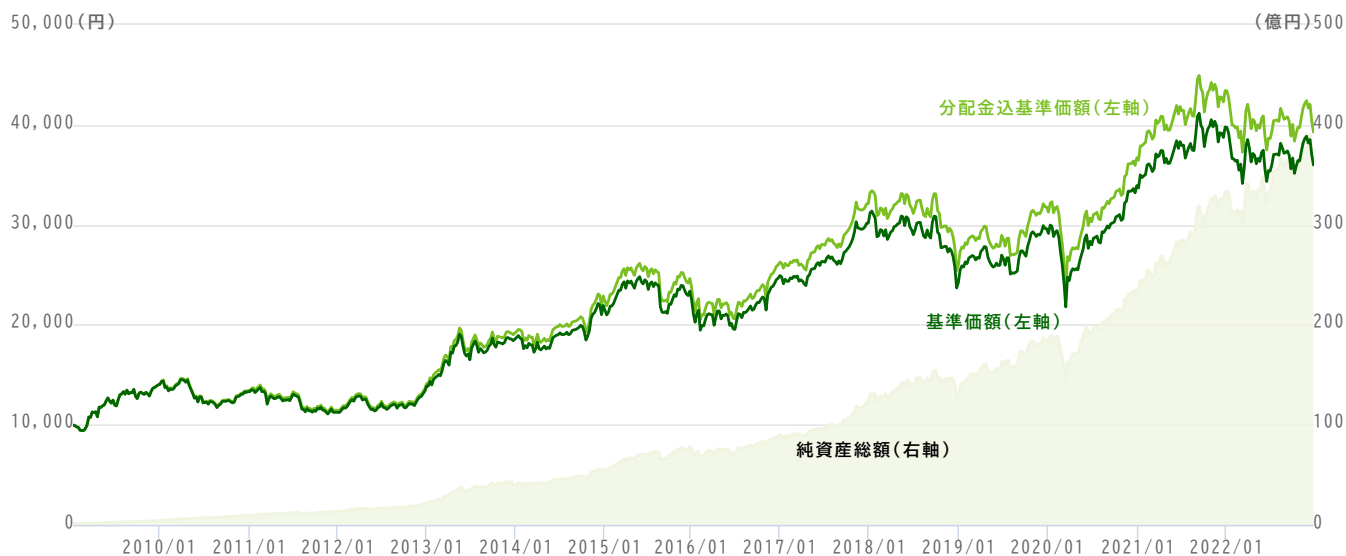
投資信託10年／国内株式コア カテゴリー 優秀ファンド賞受賞！





基準価額の推移

2009年1月19日 ~ 2022年12月30日



※「分配金込基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
 ※基準価額の計算において、運用管理費用（信託報酬）は控除しています。※当ファンドの信託報酬率は、ファンドの純資産総額の一定の増加により遞減する仕組みとなっており、当レポート作成基準日現在、年率1.078%（消費税込）です。



運用実績

2009年1月19日 ~ 2022年12月30日

基準価額

35,807 円

(前月末比)

△2,634 円 (△6.85%)

純資産総額

365.2 億円

(前月末比)

△21.0 億円 (△5.42%)

騰落率(分配金込)

期間	騰落率
1ヵ月	△6.85%
3ヵ月	1.52%
6ヵ月	1.38%
1年	△9.47%
3年	23.04%
5年	21.89%
10年	184.69%
設定来	290.88%

分配金 (1万口当たり、税引前)

決算期	分配金
2018年1月	250円
2019年1月	0円
2020年1月	250円
2021年1月	300円
2022年1月	0円
設定来合計	1,910円

※「基準価額」およびその「前月末比」は分配後です。
 ※「騰落率」は、基準日から過去に遡った期間です。税引前分配金を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
 ※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
 ※収益分配金は委託会社が決定します。分配を行わない場合もあります。



ポートフォリオの状況

ポートフォリオの構成別比率

株式	97.2%
その他	2.8%

未来コンセプト別比率

生活ソリューション	14.4%
ウェルネス	14.3%
精密テクノロジー	14.2%
資源・エネルギー	11.6%
新素材	10.9%
快適空間	9.4%
地球開発	6.4%
未来移動体	6.3%
ライフサイクル	6.3%
社会インフラ	3.4%
その他	2.8%

組入上位10銘柄

銘柄	未来コンセプト	銘柄概要	組入比率
1 三菱商事	資源・エネルギー	変化に強い組織力で、進化し続ける	4.5%
2 丸紅	資源・エネルギー	規律ある経営で収益を積み重ね、いつか総合商社ナンバーズリーに	4.4%
3 信越化学工業	新素材	戦略的なポジショニングに優れ、素材メーカー随一の収益性	4.3%
4 味の素	ウェルネス	「食と健康の課題解決企業」としての認知を広め、コーポレートブランド価値向上を目指す	4.0%
5 リンナイ	快適空間	「熱」を通じて「快適な暮らし」を提供	3.8%
6 セブン&アイ・HD	生活ソリューション	変化への対応、基本の徹底という企業文化が浸透、さらなる高みを目指す	3.7%
7 デンソー	未来移動体	モビリティ社会で価値を創造し続ける	3.7%
8 東京エレクトロン	精密テクノロジー	創業時のエネルギーが脈々と続く「革新」を続けるグローバル企業	3.6%
9 ディスコ	精密テクノロジー	kiru、kezuru、migaku、世界を代表する精密加工装置メーカー	3.6%
10 KADOKAWA	生活ソリューション	IP創出力とIT技術力に支えられ、変化を恐れず挑戦し続ける	3.6%

※「ポートフォリオ別構成比」「未来コンセプト別比率」「組入上位10銘柄」に関しては、マザーファンドについての記載になります。

※各比率はマザーファンドの純資産総額を100%として計算しております。四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

※その他とは現金等を指します。

◎「未来コンセプト」とは、当ファンドが行っている業種分類です。以下のように10種類に分類を行っております。

「資源・エネルギー」「新素材」「精密テクノロジー」「ウェルネス」「生活ソリューション」「社会インフラ」「未来移動体」「快適空間」「地球開発」「ライフサイクル」



運用状況

◎運用レビュー

12月のファンドの月間リターンは▲6.85%の下落となりました。

◎運用責任者メッセージ

12月の内外株式市場は、年末にかけて世界的に下落はが拡大しました。欧米の中央銀行の物価抑制に対する強めの姿勢が継続されたことや、日本銀行による金融政策の変更がサプライズとなり世界的な株価の下落に拍車をかけました。結果として、2022年は米国株式市場のNYダウ、S&P500、ナスダックの主要3指数はリーマンショック以来の年間下落率となりました。国内株式市場も、世界的な株価下落に連動したことに加え、日本銀行の金融政策で急激な円高になったことなどから年末にかけ大きく下落しました。

当ファンドは、月間で▲6.85%の下落、投資先30銘柄中3銘柄が値上がり、27銘柄が値下がりとなりました。同期間のTOPIX（東証株価指数；配当込）は▲4.57%の下落、日経平均株価も▲6.70%の下落となりました。

当ファンドの株式の組入比率は、97.2%と前月比+3.5%の上昇となりました。

日本銀行が金融政策の調整を行ったことで株式市場の下落幅が大きくなって以降、買い増し姿勢を強めたことで株式組入比率は大きく上昇しました。個別銘柄の月間騰落率では資生堂+11.59%、セブン&アイHD+1.45%、ベネッセHD+0.75%が上位3銘柄となりパフォーマンスをけん引しました。下位3銘柄は、エムスリー▲14.91%、東京エレクトロン▲13.77%、デンソー▲13.02%となりました。

当月、上場来高値を更新した銘柄は味の素、ユニ・チャーム、丸紅の3銘柄（銘柄コード順）、年初来高値を更新した銘柄もエーザイを加え4銘柄ありました。

今年の株式市場は、前半は欧米の利上げが相応に続き、世界的な景気減速も相まって企業業績を押し下げることで株価はボトム圏でのボックス相場を想定、後半は欧米で利下げを織り込む金融相場から年末にかけての株高を予想しています。また、東証が進める市場区分の見直し後の対策として、低PBR、低ROE企業への改善策開示は、市場改革への大きな動きになることを期待しています。当面は、株価調整局面での買い増し姿勢を強化して参ります。引き続き、ご期待ください。

どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

最高運用責任者 伊井 哲朗

◎新NISA一億総株主時代の幕開け～長期投資でつくる私たちの未来～

わたしたちコモンズ投信の新NISAに対するスタンスと取組みについてのメッセージをまとめました。新NISAが「誰もが当たり前資産形成を行う時代」を大きく後押しするものと考え、その中で私たちは資産形成のその先にあるお仲間一人ひとりの幸せの実現に寄り添える存在でありたいと思っています。今後のコモンズ投信に、ぜひご期待ください。

<https://www.common30.jp/customer/1599/>

◆2022年12月次運用報告動画もぜひご覧ください！

<https://youtu.be/LrX3pDLBBnU>

2022年12月次運用報告動画



投資委員会メンバー

○伊井哲朗、上野武昭、末山仁、原嶋亮介、古川輝之/○は最高運用責任者

※組入比率と組入銘柄に関しては、マザーファンドについての記載となります。



新規組入投資先

なし



今月のピック！

■ (8113) ユニ・チャーム

ユニ・チャームの2022年12月期第3四半期決算は、第3四半期までの累計で、売上高は前年同期比14.5%増、コア営業利益は同5.9%減という結果でした。原材料価格高騰の影響は決して小さくはありませんし、原材料価格の変動が業績に影響するまでには時間差があることから、新年度（2023年12月期）の前半にかけてはまだ当面は厳しい事業環境が続くことが見込まれます。

こうした環境下、多くの日用品メーカーは主に同一商品の単純な値上げやセール等による販売促進費用の抑制によってその影響を打ち返そうとしているのに対して、同社は毎年、各国で多くの商品のリニューアルを行っているという特徴を活かし、**高付加価値の新商品を各国市場に市場投入することによる「価値転嫁」を推進**しています。消費者の満足度を高めながら販売価格を上げることで原材料価格の影響を最小限に抑えているという印象で、**地力の強さを改めて実感**しています。

シニア・アナリスト/ESGリーダー 原嶋 亮介

■ (6586) マキタ

マキタは、2022年10月28日に2023年3月期第2四半期決算を発表しました。上期実績は上海ロックダウンの発生によるサプライチェーンの混乱や為替の円安による悪影響、欧米諸国の需要減速等、マクロ環境に大きく左右される結果となり増収減益となりました。また、年間予想は売上高7,400億円（前年同期比+0.1%）、営業利益400億円（同▲56.4%）とし、前年同期比大幅減益の見込みとなっております。

同社の事業環境は逆風の中でありやや不運な面も否めませんが、世界の競合プレイヤーにおいては、在庫圧縮、製品ラインナップの削減、間接費削減等の様々な構造改革を打ち出している中で、同社の経営のスピード感が見劣りするようになっております。足元では、余剰在庫の圧縮に取り組む等徐々に対策を講じつつあり、また為替の円安が落ち着きを取り戻しつつある為、**事業環境の最悪期は脱しつつある**と捉えております。今後の中長期の成長ポテンシャルとしては、世界の脱炭素の潮流の中で同社の充電製品における高付加価値ラインナップの拡充、園芸用製品の市場の開拓、欧州以外の地域への積極的な展開に期待したいと思っております。

アナリスト 古川 輝之

■ (6856) 堀場製作所

12月は堀場製作所の株価が8.17%下落しました。2023年に向けて半導体市場の減速が懸念されたことや、自動車生産台数の回復基調が依然として緩やかであることなどが嫌気されたようです。

堀場製作所は、11月11日に2022年12月期第3四半期決算を発表しました。半導体メーカーの設備投資が拡大し、顧客である半導体製造装置メーカー向けの販売が大きく増加したことや大幅な円安の影響などにより、第3四半期累計の実績は前年同期比で大幅な増収増益となり、**売上高、営業利益は過去最高を更新する好調な業績となりました**。また、足元の好調な業績を背景に通期の業績予想を上方修正し、年間でも過去最高の業績を更新する見通しです。自動車セグメントなど一部のセグメントでは、部材不足や部材調達価格の高騰などにより利益面での厳しい状況が続きますが、売上面では受注の好調や円安効果などにより、自動車、環境、医用、半導体、科学の**全てのセグメントで前年同期比での増収が確保できる見通し**です。

シニア・アナリスト 末山 仁

■ (2371) カカココム

1997年の創業以来、日々の暮らしが豊かになるようなインターネットサービスを展開しています。事業領域は、ショッピングやグルメ、旅行、映画、不動産、求人などへと拡大しています。現在、グループサービスは20以上を数えます。同社が目指すのは、人々が必要とする世の中のインフラをつくることです。ココミにこだわるわけではなく、消費者をメインに据えて、情報の非対称性をカバーする役割を果たしたいという強い思いがあります。

業績は回復基調が強まっています。求人ボックス（求人情報の一括検索サイト）の収益拡大が続く中、食べログ（レストラン検索・予約サイト）事業は今期第1四半期（4-6月）から回復軌道に乗り、価格.com（購買支援サイト）事業は来期から回復してくると思われれます。主力事業の回復をけん引役に、24年3月期の連結営業利益はコロナ禍前の20年3月期水準（272億円）を超えていくものと期待されます。

シニア・アナリスト 上野 武昭



CHEERS主催 HELLO!ヘンテコタウン2022クリスマスフェス ～寄付の文化をこどもたちへ～

12月25日（日）、クリスマスの日に第14回コモンズ社会起業家フォーラムにご登壇くださった白井智子さん率いる株式会社CHEERSが主催する「HELLO!ヘンテコタウン2022クリスマスフェス」に、コモンズ投信がメインスポンサーとして登場いたしました。

このイベントは、こどもたちがサンタさんになって、会場のブースを回ってワークショップを体験し、応援したい団体を見つけて寄付をしようというもの。

「知る→心が動く→行動する」を学びのコンセプトに、こどもたちが社会課題や寄付の仕組みを学んで、主体的に寄付先を選んで笑顔が循環することがテーマになっています。

さて、コモンズ投信は「**自分のものさしで寄付先を選んでみよう!**」というブースを用意して、こどもたちと一緒にいろいろなブースに行って寄付先選びのお手伝いをしました。自分の基準で、「こども」にやさしい・「地球」にやさしい・「社会」にやさしいの3つのテーマから寄付先を選びます。こどもたちは、しっかりと自分のものさしを定めた上で寄付先を見ることによって、自分の心が動いた団体を選ぶことができました。

また、弊社の馬越が「～寄付から考えるものさしづくりの大切さ～」と題して、トークセッションを行い、コモンズ投信の寄付の考え方や、こどもトラストセミナー等の取り組みをご紹介しました。親御さんが参加者では多かったです。お子様についての**金融教育という面でも興味深かった**との声をいただきました。



実際にこどもたちとブースを回りながら各団体がどんな活動をしているのかを聞いたり、実際に体験させてもらったりをしながら楽しむことができました。そして、自分にとっては何をしている団体に寄付したいかを考えながら、各団体の説明を聞き、ワークショップを体験することが、**こどもたちにとっての学びの場**にもなっていました。

12月は寄付月間です。こどもたちがとても楽しそうに寄付について体験しながら学ぶ、よいクリスマスでした。コモンズ投信では、今後もこのような取り組みを続けてまいります。

マーケティング部 齋藤 亮



コモンズSEEDCapからのお知らせ

【今年の12月も「寄付月間」で盛り上がりました！】

◇コモンズSEEDCapに関して詳しくはこちら

→ <http://www.common30.jp/fund30/seed>

寄付月間についてはこちら

→ <https://giving12.jp/>

欲しい未来へ、 Giving
寄付を贈ろう。 December
寄付月間

「寄付月間（Giving December）」は、NPO、大学、企業、行政など寄付に関わる関係者が幅広く集い、寄付が人々の幸せを生み出す社会をつくるために協働で行う全国的なキャンペーンです。

寄付月間2022では150件を超える賛同企画がエントリーされました。

弊社社長洪澤が推進委員会の副委員長を務め、リードパートナー、共同事務局メンバーとして寄付月間を推進してきたコモンズ投信も、以下のイベントなどを開催しました。

■トークショーわたしたちが寄付アクションを起こすその理由

～企業の見えない価値、寄付編～（12月14日開催）

共催：公益財団法人資生堂子ども財団、公益財団法人ベネッセこども基金

資生堂汐留オフィスで会場開催、加えてオンラインでも同時配信させていただきました。以下URLより引き続きご視聴いただけます。

<https://youtu.be/bqdvKmaPpY8>

資生堂子ども財団様も当日の様子をサイトにてご紹介くださっています。

<https://www.shiseido-zaidan.or.jp/info/event/20221216.html>



■HELLO!ヘンテコタウン2022クリスマスフェス
～寄付の文化をこどもたちへ～（12月25日開催）

第14回コモンズ社会起業家フォーラムの登壇者 白井智子さんのCHEERS主催のクリスマスイベントのメインスポンサーを務めさせていただき、寄付先選定のブースの出展もしました。



ソーシャル・エンゲージメント・リーダー 馬越 裕子



お客さまからの声

セミナーにご参加いただいたお客さまからいただいたお声をご紹介します。

ザ・2020ビジョン投資先企業の魅力を知る ～ゼロからわかるデクセリアルズ～

難解な技術関係の情報を分かり易く解説していただきました。実際の部品やスマホに使用される用途の説明が印象に残りました。世界中でデクセリアルズにしかできない技術、製品を開発してください。（70代・男性）

わたしたちが寄付アクションを起こすその理由 ～企業の見えない価値、寄付編～ 寄付月間2022賛同企画

企業が財団を設立して社会貢献をすることの意義も知ることができました。また、投資ファンドを買うと寄付につながるのとても素敵な取り組みです。自分や家族のために資産運用をして、それが寄付に繋がるのは顧客の満足感が増すと思います。（20代・男性）

的確なアドバイスも頂きとても勉強になりました。そして、みなさんのお話とてもワクワクしてもっと色々な事を自分たちの活動で頑張れる気がしてきました。参加していたみなさんとの出会いにも感謝します。また、寄付月間ということばを初めて知りました。子供達の選択肢に寄付がある事、教育にもとてもいいなと思いました。今回はありがとうございました。（30代・女性）

資産づくり質問会

私の質問やほかの方の質問に対する回答が適切で分かりやすかったです。基本的なことに丁寧にこたえていただきありがとうございました。20年以上の投資に対して経験がないので不安が多くありましたが、長期投資の考え方を改め理解することができました。

また、福本さんの解説、回答が大変参考になりました。デメリットやマイナスなことも正直に話されており信頼できるファンドであることを改めて知ることができました。（60代・男性）

コモンズの視点～企業のみカタ～ クボタのご紹介

コモンズ30ファンドで長期積み立て投資をしようと決断した理由は30社の企業のほとんどが私も信頼できる企業だと感じたからです。以前から自分的に好感度の高い企業が多く含まれておりクボタもその中の一社で今回のセミナーでより理解が深まりました。（60代・男性）

2022年末企画 「伊井さん、何でも聞いていいですか？」

質疑応答の時間が十分に取れた事。また、全ての質問に丁寧に答えて頂きました。（40代・男性）

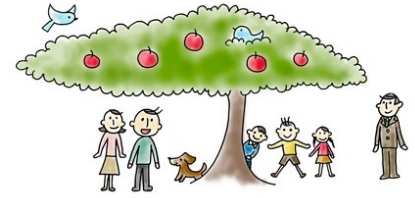


お知らせ

Pick Up! セミナー

最新のセミナー情報は commons 投信ウェブサイトの「[セミナー情報](#)」をご覧ください。

<https://www.common30.jp/seminar/>



◆2022年12月次運用報告動画もぜひご覧ください！

<https://youtu.be/LrX3pDLBBnU>

□【会場開催 | 東京】
commons 投信運用報告会

1月28日 (土) 13:30~15:00



□こどもトラストセミナーおかねの教室 (小学生対象)

「おかねの4つの使い方～お年玉をどう使おう?～」

1月9日 (月・祝) 10:00~10:45

□【なでしこPJ共催企画】

ダイバーシティ推進はどのように企業価値につながっているの?

1月13日 (金) 18:30~20:30

□ジュニアNISAとこどもトラスト

1月17日 (火) 19:30~20:00

□commons のファンドの月次レポートを読み解く!

1月19日 (木) 20:00~20:30

□【オンライン】

commons 投信運用報告会

1月25日 (水) 20:00~21:15

□commons の視点 ~企業のミカタ~
カクコムのご紹介

1月27日 (金) 20:00~20:30

☆アーカイブ動画を [YouTube「COMMONSTV」](#) にて配信しております。
ぜひ、チャンネル登録をお願いいたします! ☆

※Morningstar Award“Fund of the Year 2021”は過去の情報に基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また、モーニングスターが信頼できると判断したデータにより評価しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。著作権等の知的財産権その他一切の権利はモーニングスター株式会社並びにMorningstar, Inc.に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。当賞は国内追加型株式投資信託を選考対象として独自の定量分析、定性分析に基づき、2021年において各部門別に総合的に優秀であるとモーニングスターが判断したものです。国内株式型 部門は、2021年12月末において当該部門に属するファンド897本の中から選考されました。

※「R & I ファンド大賞」は、R & I が信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報 (ただし、その正確性及び完全性につき R & I が保証するものではありません) の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務 (信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務) です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は R & I に帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。



販売会社一覧

販売会社名称	登録番号等	日本証券業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
ソニー銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長 (登金) 第578号	○	○		○
PWM日本証券株式会社※1	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第50号	○			○
楽天証券株式会社※1	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第195号	○	○	○	○
マネックス証券株式会社※1	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第165号	○	○	○	○
株式会社SBI証券※1	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第44号	○	○		○
株式会社秋田銀行※1	登録金融機関 東北財務局長 (登金) 第2号	○			
株式会社足利銀行	登録金融機関 関東財務局長 (登金) 第43号	○	○		
株式会社栃木銀行※1	登録金融機関 関東財務局長 (登金) 第57号	○			
株式会社横浜銀行※1	登録金融機関 関東財務局長 (登金) 第36号	○	○		
株式会社イオン銀行※1	登録金融機関 関東財務局長 (登金) 第633号	○			
株式会社北海道銀行※1	登録金融機関 北海道財務局長 (登金) 第1号	○	○		
岡三証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第53号	○	○	○	○
株式会社静岡銀行※1	登録金融機関 東海財務局長 (登金) 第5号	○	○		
静銀ティーム証券株式会社※2	金融商品取引業者 東海財務局長 (金商) 第10号	○			
株式会社福岡銀行※2	登録金融機関 福岡財務支局長 (登金) 第7号	○	○		
株式会社熊本銀行※2	登録金融機関 九州財務支局長 (登金) 第6号	○			
株式会社十八親和銀行※2	登録金融機関 福岡財務支局長 (登金) 第3号	○			
株式会社百五銀行	登録金融機関 東海財務支局長 (登金) 第10号	○	○		
松井証券株式会社※1	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第164号	○	○		
野村証券株式会社※2	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第142号	○	○	○	○

※1 つみたてNISA取扱 ※2 つみたてNISAのみ取扱



販売会社一覧

販売会社名称	登録番号等	日本証券業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
浜銀TT証券株式会社※2	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第1977号	○			
FFG証券株式会社※2	金融商品取引業者 福岡財務支局長 (金商) 第5号	○			○
株式会社京葉銀行※2	登録金融機関 関東財務局長 (登金) 第56号	○			
株式会社十六銀行	登録金融機関 東海財務局長 (登金) 第7号	○	○		
株式会社鳥取銀行	登録金融機関 中国財務局長 (登金) 第3号	○			
tsumiki証券株式会社※1	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第3071号	○			
百五証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長 (金商) 第134号	○			
auカブコム証券株式会社※1	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第61号	○	○	○	○
PayPay銀行株式会社※1	登録金融機関 関東財務局長 (登金) 第624号	○	○		
株式会社西日本シティ銀行	登録金融機関 福岡財務支局長 (登金) 第6号	○	○		
株式会社七十七銀行※2	登録金融機関 東北財務局長 (登金) 第5号	○	○		
株式会社伊予銀行※2	登録金融機関 四国財務局長 (登金) 第2号	○	○		
四国アライアンス証券株式会社※2	金融商品取引業者 四国財務局長 (金商) 第21号	○			
京都信用金庫	登録金融機関 近畿財務支局長 (登金) 第52号	○			
株式会社佐賀銀行	登録金融機関 福岡財務支局長 (登金) 第1号	○	○		
LINE証券株式会社※1	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第3144号	○			
株式会社山梨中央銀行	登録金融機関 関東財務局長 (登金) 第41号	○			
SMB C日興証券株式会社※1	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第2251号	○	○	○	○
株式会社大垣共立銀行※2	登録金融機関 東海財務局長 (登金) 第3号	○	○		
OKB証券株式会社※1	金融商品取引業者 東海財務局長 (金商) 第191号	○			
株式会社SBI新生銀行 (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)※1	登録金融機関 関東財務局長 (登金) 第10号	○	○		

※1 つみたてNISA取扱 ※2 つみたてNISAのみ取扱



販売会社一覧

販売会社名称	登録番号等		日本証券業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
アイザワ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第3283号	○		○	
東海東京証券株式会社※1	金融商品取引業者	東海財務局長 (金商) 第140号	○	○		○
スルガ銀行株式会社※1	登録金融機関	東海財務局長 (登金) 第8号	○			

※1 つみたてNISA取扱 ※2 つみたてNISAのみ取扱



コモンズ30ファンドのリスクについて

基準価額の変動要因

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま（受益者）の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま（受益者）に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。

お客さま（受益者）には、当ファンドの内容・リスクを十分にご理解のうえ、ご投資の判断をしていただくよう、よろしくごお願い申し上げます。

なお、下記のリスクはすべてのリスクを網羅しているわけではありませんので、ご注意ください。

基準価額の変動要因となる主なリスク

株価変動リスク	当ファンドは実質的に国内外の株式を組入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、国内および国外の経済・政治情勢などの影響を受け変動します。株式の価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割込むことがあります。
流動性リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引が行えない、または取引が不可能となる場合が生じることを流動性リスクといいます。この流動性リスクの存在により、組入銘柄を期待する価格で売却あるいは取得できない可能性があり、この場合、不測の損失を被るリスクがあります。
為替変動およびカントリーリスク	外貨建資産を組入れた場合、当該通貨と円との為替変動の影響を受け、損失を生ずることがあります。また、当該国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、当ファンドの基準価額が大きく変動するリスクがあります。



その他の留意点

収益分配金は、預貯金の利息とは異なります。収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部戻りに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。収益分配の支払いは、信託財産から行われます。従って純資産額の減少、基準価額の下落要因になります。



コモンズ30ファンドの費用について

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	(コモンズ投信の場合) ありません。 (委託会社の指定した販売会社の場合) 販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。なお、販売会社における購入申込手数料率は3.3% (消費税込) が上限となっております。
換金手数料	ありません。
運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年税込1.078% (税抜0.98%) を上限とした率を乗じて得た額とします。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逡減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用・手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額に対して年0.11% (消費税込) を上限として投資信託財産より控除されます。上記の手数料(費用)等の合計額については、運用状況、保有機関等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。



お申込みメモ

その他

商品分類	追加型投信/内外/株式
信託設定日	2009年1月19日
信託期間	無期限（ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります）
分配方針等	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
購入単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問合せください。
購入価額	購入申込日の翌営業日の基準価額
換金単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問合せください。
換金価額	換金申込日の翌営業日の基準価額
申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。午後3時を過ぎてのお申込みは、翌営業日のお申込みとして取扱います。
換金代金の支払い開始日	換金申込日から起算して5営業日



ご注意事項

- ◆本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものです。
- ◆ファンドの組入銘柄の参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格などの上昇や下落を示唆するものではありません。
- ◆このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。
- ◆投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。



関係法人

委託会社

コモンズ投信株式会社
〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-5平河町Kビル5階

- ・金融商品取引業者
- ・関東財務局長（金商）第2061号
- ・加入協会 一般社団法人投資信託協会

お問い合わせ先
■コールセンター（受付時間／平日 午前10時～午後4時）
03-3221-8730
■ウェブサイト
<https://www.common30.jp/>